

文明の交差する世界

第1章



グデア頭像
イラク
紀元前2100年頃
天理大学附属天理参考館蔵



「誰にも破壊できないように」
硬い閃緑岩で製作した
シュメール王の彫像。



釈迦如来立像(清凉寺式)
日本
鎌倉時代 文永10年(1273)
奈良国立博物館蔵

釈迦の真の姿をあらわすという
伝説の像の写し。釈迦に会いたい！
切なる祈りがつくりあげた、究極の似姿。

緑松石象嵌青銅内玉戈
中国
殷(紀元前13〜前11世紀)
天理大学附属天理参考館蔵



尖っているには
理由がある。
墳墓を守る力の造形。

加彩鎮墓獸
中国
唐(8世紀)
天理大学附属天理参考館蔵



本展は、世界中から集められた天理大学附属天理参考館の30万点にのぼる膨大なコレクションの中から厳選した作品群と、奈良国立博物館所蔵の仏教美術作品などを組み合わせ、人類の約6000年に及ぶ歴史を探究する展覧会です。

「文明の交差する世界」、「神々と摩訶不思議な世界」、「追憶の20世紀」の3つの章で構成し、考古資料や民族資料を中心に約220件を展示します。中には、世界でも天理参考館のみが所蔵する稀少な作品や初公開の作品も含まれます。

時空を超えた世界探検の旅にどうぞご期待ください。

展示品はすべて
写真撮影
OK!

精霊仮面「コヴァヴェ」
バブアニューギニア、ニューギニア島
20世紀前半
天理大学附属天理参考館蔵



豚の靈魂を食べて
生きる!?
山に棲む精霊。



神々と摩訶不思議な世界

第2章



儀礼劇チャロランの仮面 魔女ランダ
インドネシア、バリ島
20世紀前半
天理大学附属天理参考館蔵

寡婦になり、魔女ランダの姿になったバリの太后。
髪には人毛を使い、
頭と首から垂らした紐は人の腸を表す。

人形彩画木棺
エジプト
プトレマイオス朝(紀元前3〜後1世紀)
天理大学附属天理参考館蔵



顔を彩る高純度の金は
高貴さの証か。
うら若き女性のための
ミイラ木棺。

ジャワの王家が愛した
影絵人形。
革に施された
透かし彫りは
超絶技巧の極み。



影絵芝居
ワヤン・クリットの人形
インドネシア、ジャワ島
1840年
天理大学附属天理参考館蔵

追憶の20世紀

第3章

一目でわかる!?
北京のビックリ看板
大集合!



北京の看板(実物看板)
帽子屋
中国
20世紀前半
天理大学附属天理参考館蔵

北京の看板(模写看板)
キセル・喫煙具屋
中国
20世紀前半
天理大学附属天理参考館蔵

誇り高きリーダーの証。

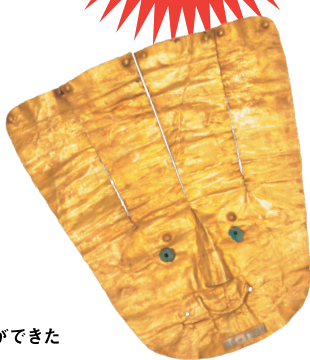


戦士の荣誉礼冠
カナダ
20世紀中頃
天理大学附属天理参考館蔵



金製頭飾 人面形
推定ボリビア
インカ帝国(15〜16世紀)
天理大学附属天理参考館蔵

インカの王族だけが
所有し身に着けることができた
権威の象徴。



初公開

彩文大型壺
ペルー-中東部
20世紀
天理大学附属天理参考館蔵

ペルーのアマゾンに暮らす
先住民シビボ族の
儀礼体験を写した幾何学文。



「世界探検展」の歩き方
本展への応援コメント



石川直樹氏(写真家)

ひとつひとつの資料が、
どこでどのように使われてきたのか。
それを想像するだけでも、ずっといられる。
数奇な運命をたどって
目の前に集まった品々は、
未知の彼方へと向かう
旅への端緒となる。



月刊ムー

スーパーミステリー!
マガジン「ムー」編集部

神が、精霊が、聖獣が、
異界への入り口が、
世界各地から奈良へ集う。
畏怖すべき存在を覗きたい、
得たいという究極の希求から、
人類は不可視の驚異を具現化し、
仮面によって
その身に宿す営みを重ねてきた。
信仰と生活が一体化した
信仰具・呪具の数々は、
神霊と自分たちの本来の関係を
教えてくれるはずだ。
「世界探検の旅ー美と驚異の遺産ー」展は、
我々自らの
内面への旅になるだろう。
靈魂舟「フラモン」で、
祖霊の世界へ行こうではないか!



中江有里氏(俳優・作家・歌手)

奇跡とか歴史とか言われる品々が、
一堂に集まる2か月。
この時間こそが奇跡で、
歴史の節目でもある。



三浦しをん氏(小説家)

時間旅行と世界旅行を
同時に楽しめる展覧会!
単なる「鑑賞」に留まらず、
美と迫力と獨創性に満ちた品々から、
地球上で生きてきた
人々の生活の息吹を「体感」できます。